

高校生
発案連載



見ていく？なはまち

ふらっと

寄り道

ふらっと2
平和通り

こんにちは！なはまち（那覇の中心商店街）へ市民や県民に來訪してもらう「まちもどし」活動5年目の沖縄尚学高校地域研究部です。地域研究部の他の取り組みで、4月に修学旅行で来ていた広島県の高校生と一緒に沖縄戦の「白梅学徒隊」についてフィールドワークをしました。

さて、今月は昔ながらの商店街の雰囲気も色濃く残している長〜い「平和通り」を紹介したいと思います。

平和通りの歴史

平和通りの名前の由来は「平和館」と言われる映画館にちなんでつけられ、長年マチグワの代名詞としても市民に使われていたそうです。40年前にお店の方々がお金を出し合ってアーケードが作られ、雨も暑さもしのげる通りとなりました。数多くのイベントも実施されています、今はコロナ禍でお休みしていますが、ハロウィンイベントは20年以上も続いています。子どもの頃に仮装してお菓子をもらった人たちも沢山いることでしょう。その頃を思い出して、歩いてみるのも楽しそうです。

平和通りの魅力！

平和通りは観光客向けのお土産屋さんの他に、衣料・雑貨・菓子・骨董品のお店、定番沖縄食堂・レトロな喫茶店・多国籍料理など色んな種類の飲食店が並びます。婦人服店も多く、地元のおばちゃんたちがアーケードの中で楽しそうにゆんたくしていました。アーケードの支柱には全てに番号が付いており、待ち合わせ場所にも便利です。



そうそう、他の通りやテンプス館や桜坂劇場に抜ける道も沢山あるので、ぜひ探検してみてください！

地元の温かさがある通り

平和通り会理事

の喜納正吉さんと矢野弘子さんに平和通りの魅力について聞いてみました！

「昔から日常のおしゃべりの場で、今も多くの人が交流する場」と地元の温かみを感じることが出来る通りだと教えてもらいました。2月末で閉場した公設市場衣料部・雑貨部については、「長年通りを一緒に盛り上げてきた市場が閉場したのは残念。今は市場の前のスペースで懐かしい写真や顔出しパネルを設置していますよ」ととびつりの「映え情報」を入手しました。

ぜひ皆さんも平和通りの温かさを感じに来てみてください。

昔にタイムスリップ!?
色々な顔出しパネルがあるので、ぜひ試してみてください。



取材▼沖縄尚学高等学校 山本琉斗

事業者の
新しいチャレンジを応援します！

事業刷新支援事業 〇 園商工農水課 ☎ 951・3212

市では、コロナ禍でも、業態転換や新事業など新たな取り組みに挑戦する事業者へ、経費の一部を補助しています。

今回は、株式会社リンクファクトリーの上岡祥吾さんへお話を伺いました。



株式会社リンクファクトリー

電話 3220 101号 ☎ 917・5863

Q 応募のきっかけは？

コロナ禍の影響でオンライン授業が多くなり、当初の計画通りに事業が進まない状況が続きました。また、講師業や教育事業を行う方の中には「毎日ではなく、授業を行う時間だけ教室を使いたい」「オンラインで講座を配信したいが運営方法がわからない」と考えている方も多く、一つの場所ですべての講座・習い事やオンライン配信のサポートができれば、相乗効果が高まり、地域への波及効果も高いと考えました。

Q どのような営業転換をしましたか？

大学生向け資格取得・就職支援講座の運営に加え、講座用のレンタルスペース運営を始めました。

小・中学生から大学生・社会人までが様々な講座や習い事をできる、地域の学びの拠点としてのレンタルスペースの運営およびオンライン講座を配信していくためのサポートです。



Q 今後の取り組みをお聞かせください。

『セカンドキャンパス』のサイトを通じ、オンラインでも講座や習い事を配信し、県内各地へ様々な学びを届けていけるようにしていきたいと考えています。また、様々な団体と連携して、地域の子どものための支援をしていきたいです。

なぽんちゃんのブックトーク

はいたい！「なぽんちゃん」です！
6月は梅雨の季節。降り続く雨のせいで外出できない日があると思います。そんな日は、家でゆったり読書の時間をすごしませんか。今月は「へいわ」にかんする本を紹介します。沖縄本土復帰50周年を迎える今「へいわ」について親子で語り合うのはいかがですか。



市立図書館キャラクター「なぽんちゃん」

『ひめゆりの沖縄戦—少女は嵐のなかを生きた』

伊波園子／著（岩波書店：出版）
太平洋戦争末期の沖縄戦で負傷兵らの看護に動員され、多くの犠牲者が出た「ひめゆり学徒隊」。むごたらしい戦火を生き抜いた少女の目を通して、沖縄戦の実相が浮かび上がります。沖縄戦とは何だったのか？ひめゆりの悲劇はなぜ起こったのか？復帰50周年を迎えた今年、悲慘な戦争を二度と繰り返さないためにも、平和のありがたさ、命の尊さについて、今一度考えてみませんか。



『へいわってすてきだね』

安里有生／詩 長谷川義史／画（ブロンズ新社：出版）
「へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。」
上記の一文からはじまるこの絵本は、沖縄県与那国町立久部良小の、当時一年生だった安里有生くんが書いた「へいわってすてきだね」という詩に、絵本作家の長谷川義史さんが絵を描いた絵本です。まいにお友達とあそんだり、家族が元気にみんな笑顔ですごしたり、この平和がずっとつづいてほしいと誰もが願っていることを、安里くんが素直な感性と言葉でつづっています。改めて平和な日常の大切さ、平和な世界を考えるきっかけになる一冊です。



（担当：牧志駅前ほしぞら図書館）

〇 中央図書館 ☎ 917-3449

広告

伝えたい人に

伝えたい情報を

スマホアプリに広告できる

位置情報を使ったスマホ時代の屋外広告

オンライン看板

- ご希望の配信先住所を指定（10カ所までOK）
- アプリ表示用のバナー画像を準備

お問い合わせは

cpc001@kyoeiad.co.jp
03-5860-9468

詳細は
こちらから



kyoei ad
株式会社 キョウエイ・インターナショナル
www.kyoeiad.co.jp

これだけで
エリア内の
スマホに広告配信！

